

日本発トスカーナ便り：Viareggioの海岸

こちらも Lucca からバスで約 30 分。Mar Ligure（マール・リグーレ：リグーリア海）に面したトスカーナの海岸保養地として、そしてカーニバルでも有名な街、Viareggio（ヴィアレッジョ）。



バス停に降り立つと、もう海の香り。歩いて5分も行くと、そこは海でした！広い砂浜は、夏は満員でしょうね～。

釣りをしている人もちらほらいましたが、何が釣れるんでしょうね？☺



久々に見た海にテンションが上がる私。どこまでも広い空と海。



良い具合に太陽も顔を出して、光が海面に反射してとても綺麗です。光の加減と水と雲の動きで風景の表情が刻々と変わるので、なんだか飽きずに眺めてしまいました。

とは言え、けっこう歩きまわったので、お腹はすきます。☺海岸にはもちろんたくさんレストランがありました。私は船で売りに来ている（常設かと思ったら、帰る頃には船ごといなくなっていました。）お店で



揚げたての Fritto misto di mare（フリット・ミスト・ディ・マーレ：海の幸のミックスフライ）と Patatine fritte（パタティーネ・フリッテ：フライドポテト）多分両方で7ユーロくらいだったと思います。（もちろん1人分！）11月の下旬ではありましたが、運よく寒くもなく、穏やかな日だったので、その辺に適当に腰掛けて、レモンをたっぷり絞って頂きます。☺イカ・エビ・種類は分かりませんでした。白身の魚。結構な分量ぎっしり詰まっていますが、衣がサクサクと、さっぱり軽くて海からの風と風景を楽しみながら頂きました。（フライというより唐揚げ？）時々鳩が狙って寄ってくるので、にらみ合いです。☺



お腹がいっぱいになった後は、少し海岸を散歩。

こんなものを見つけました。

12月31日の夜中、新年のカウントダウンならぬ、「一緒に皆で海に飛び込む」参加者募集の看板。誰でも参加できて、参加したい人は下に名前を書いて、当日来てくれ！って感じです。☺ この時点ではまだ誰の名前もありませんでしたが、最終的には何人参加したんでしょうかね？（ちなみにこの年末年始は例年に比べると温かかったです。）

そしてこの銅像は、Carnèvale di Viareggio（Viareggioのカーニヴァル）十街のマスコット、Burlamacco。フロート（山車）に乗せられた、巨大な張り子の人形のパレードが名物で、（その時々々の世相を反映した政治批判・風刺なんかが題材にされることが多いようです）ヨーロッパでも有数のカーニバル・パレードとして知られているそうです。（そう言われると、つい「ケルンもすごいからな」と対抗意識を燃やしてしまう私。☺）



2013年のカーニヴァル、2月上旬から各地で始まりますよ！



Viareggio の街は、まあ海岸保養地ということ
でガイドブックを見ても他の観光名所
って、Pineta (ピネータ：早い話が「松
林」) くらいしかないようなんです。
でも観光名所になるくらいの松林ってど
んなんやろ？と思って行ってきました。



「松の木の沢山ある広い公園」でした。
ベンチやテーブルいくつもあって、散歩
したり、お弁当持参でしゃべってる人、
犬の散歩の人などなど、市民憩いの場の
ようで、けっこう賑わっていました。秋
はみんな「松の実」を拾いに来るんだそ
うですよ。Pino (ピーノ：松の木単数形)
→Pini (ピーニ：松の木複数形) →Pineta

(ピネータ：松林) →Pigne (ピーニエ：松ぼっくり) →Pinolo (ピノーロ：松の実単数形) →Pinoli (ピ
ノーリ：松の実複数形) ああ難しい…。

嬉しそうに私も殻に入った状態の Pinoli を拾ってきました。(私が拾っているのを見て、近くのベンチに座
っていた人が、「この Pinoli はとても美味しいけど、もうちょっと早い時期に来ないと、もうあんまり残
っていないと思う」と教えてくれました。というか、半分は推測ですけどね。☺)

だんだん暗くなってきて、やっぱり夕日は海岸で見なきゃ！とバスの時間を確認しつつ、再度海岸へ。



海の夕焼けは何処までも夕日が大きく、光も強くて、目が開けていられないほど。

なんだか本当に空が燃えているみたいで、感動的でした。

海に松林、街の中で自然を感じられる、っていうのが良いですね。だから保養地なんでしょうけどね。

Viareggio の街でした。(できればいつかカーニヴァルも行ってみたいもんです。☺)